



ムシガレイ（日本海南西部系群*） ①

本系群は日本海南西海域（鳥取県～山口県）に分布する。

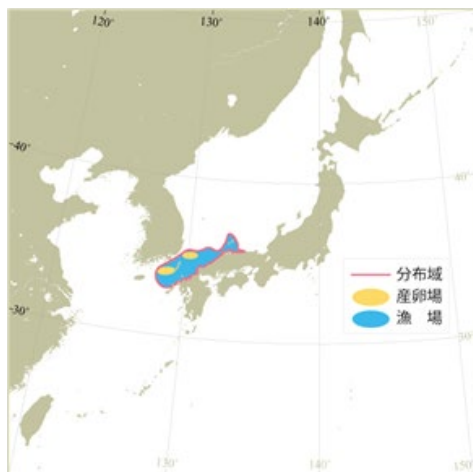


図1 分布図

日本海では水深100～200mの大陸棚上に多い。本系群は鳥取県～山口県の日本海側に分布する。

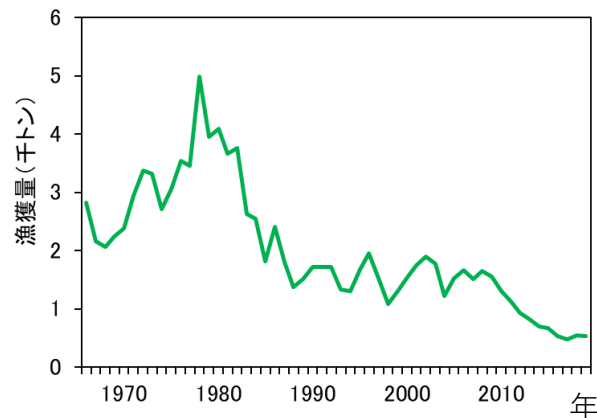


図2 漁獲量の推移

1985年以前は沖底のみ、1986年以降は小底を含む。漁獲量は、1970年代後半をピークに1980年代に大きく減少した。近年、さらに減少しており、2019年は532トンであった。

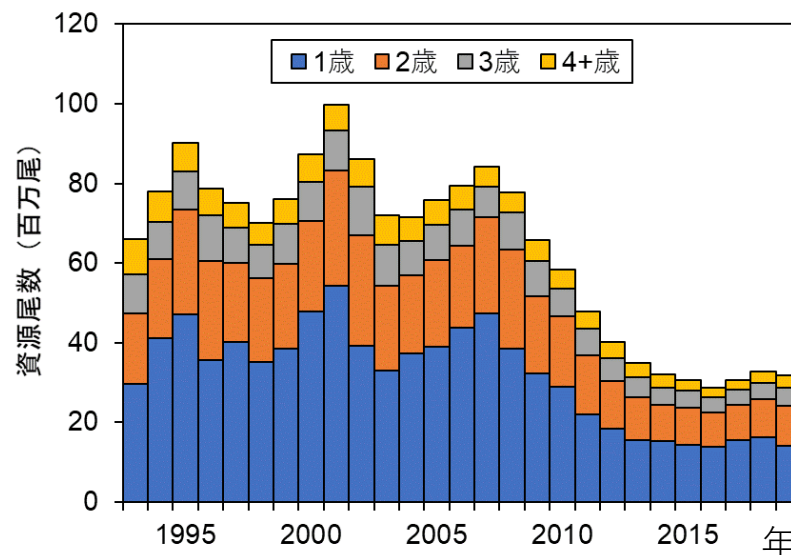


図3 年齢別資源尾数

資源尾数は、2007年の84百万尾から2016年の29百万尾にかけて減少した。その後はやや増加しており、2019年の資源尾数は32百万尾であった。

本資料は神戸プロットまでを示した暫定版であり、管理基準値案や漁獲管理規則案などを示した完成版については、令和3年度の資源評価会議後（7月以降）に公表する見込みである。

*本系群は令和2年度資源評価における日本海系群を指す。

ムシガレイ（日本海南西部系群*） ②

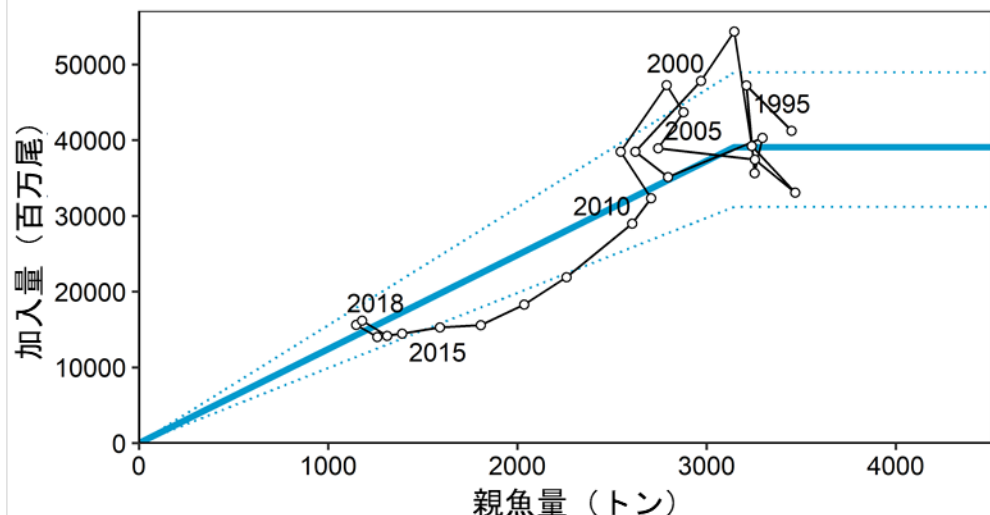


図4 再生産関係

1993～2018年の親魚量と翌年の加入量に対し、加入量の変動傾向（再生産関係から予測されるよりも良い加入（悪い加入）が一定期間続く効果）を考慮したホッカー・スティック型再生産関係（青太線：中央値、青点線：90%信頼区間）を適用した。

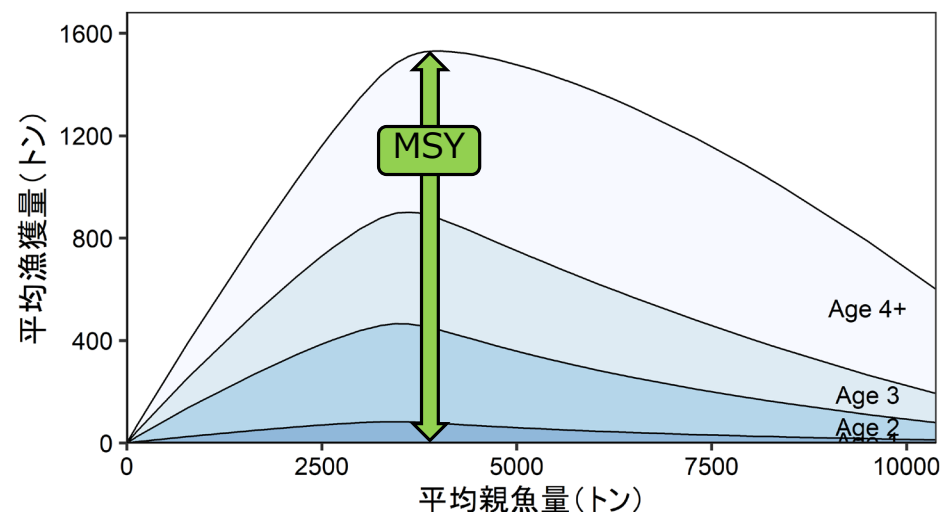


図5 年齢別漁獲量曲線

最大持続生産量（MSY）を実現する親魚量（SBmsy）は40百トンと算定される。

MSYを実現する親魚量	2019年の親魚量	MSY
40百トン	14百トン	15百トン

本資料は神戸プロットまでを示した暫定版であり、管理基準値案や漁獲管理規則案などを示した完成版については、令和3年度の資源評価会議後（7月以降）に公表する見込みである。

*本系群は令和2年度資源評価における日本海系群を指す。

ムシガレイ（日本海南西部系群*） ③

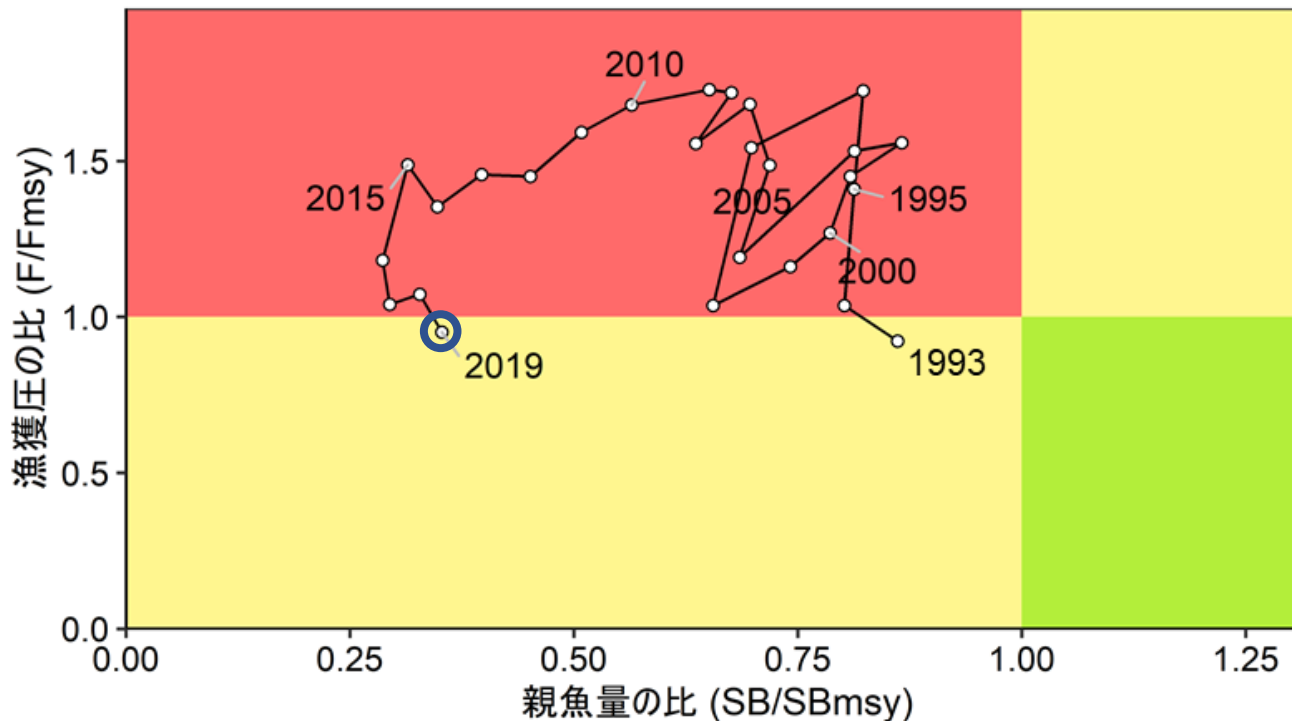


図6 神戸プロット(神戸チャート)

漁獲圧 (F) は、1994年以降、最大持続生産量 (MSY) を実現する漁獲圧 (Fmsy) を上回っていたが、2019年ではFmsyを下回った。親魚量 (SB) は、MSYを実現する親魚量 (SBmsy) をすべての年で下回っている。

本資料は神戸プロットまでを示した暫定版であり、管理基準値案や漁獲管理規則案などを示した完成版については、令和3年度の資源評価会議後（7月以降）に公表する見込みである。

*本系群は令和2年度資源評価における日本海系群を指す。